

神戸ビエンナーレ2011・プレ企画 特別展
日本のアニメーション美術の創造者
山本二三展
— 天空の城ラピュタ、火垂るの墓、時をかける少女 —

[開催概要](#) | [展覧会内容](#) | [入館料金](#) | [関連イベント](#)

小中大

2011年(平成23)7月16日(土)
～9月25日(日) (63日間)

※開館時間：

午前10時から午後5時まで
(入館は午後4時30分まで)
金・土曜日は午後7時まで開館
(入館は午後6時30分まで)

※休館日：

月曜日・7月19日(火)・9月20日(火)
*ただし7月18日(月・祝)・8月15日(月)・9月19日(月・祝)は開館

 [会場の神戸市立博物館の所在・交通](#)

山本二三が描く背景画の世界 初公開

日本を代表するアニメーションの画家・美術監督である山本二三(やまもとにぞう、1953～)の展覧会を、神戸ビエンナーレ2011・プレ企画として開催します。

山本二三は、テレビアニメーション「シートン動物記・くまの子ジャッキー」(1977)で美術助手を、そして「未来少年コナン」(1978)、劇場版「じゃりん子チエ」(1981)、「名探偵ホームズ」(1982)、「天空の城ラピュタ」(1986)などの美術監督をつとめました。

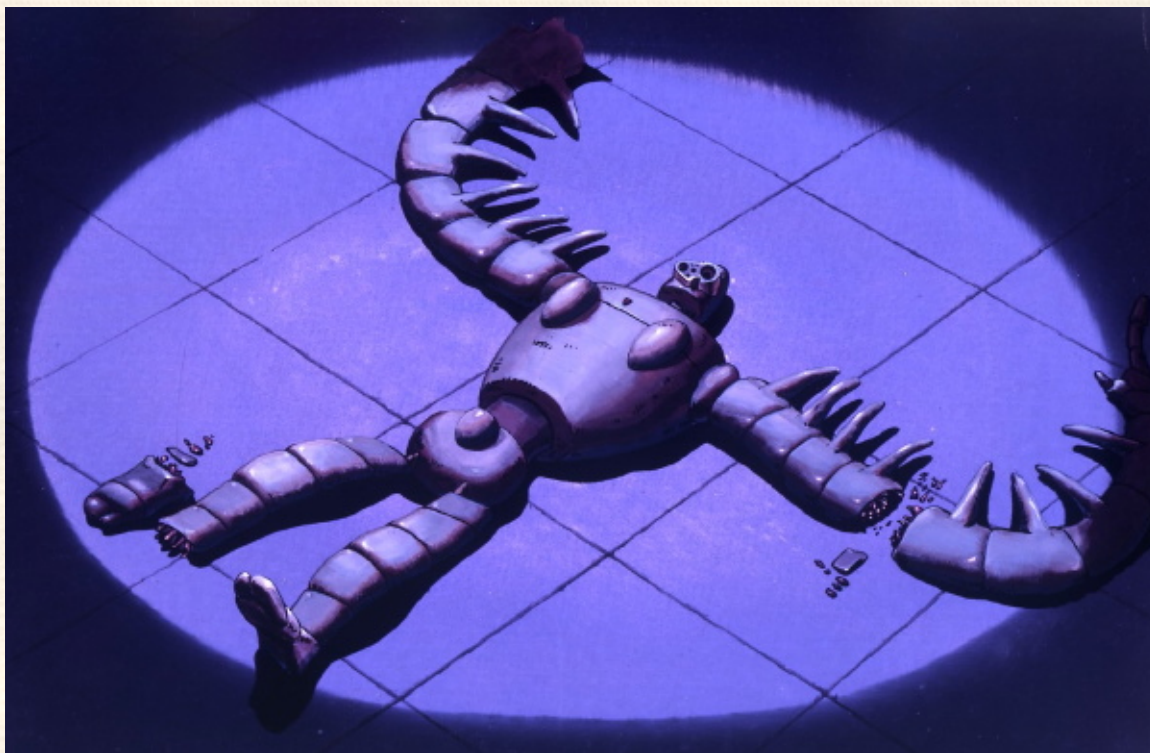
野坂昭如(のさかあきゆき)の名作を、高畑勲監督がアニメーションとした「火垂るの墓」(1988)、宮崎駿監督「もののけ姫」(1997)、筒井康隆のジュブナイル小説をアニメ化した細田守監督「時をかける少女」(2006)などの作品で表現された詩情豊かな世界は、多くの鑑賞者を魅了しました。

山本二三が描く作品は、入念な取材と、精密なスケッチに基づいています。特に光の輝きとさまざまな表情を見せる雲の描写は「二三雲」と呼ばれ、広く知られています。

本展は、山本二三みずからが選択した、アニメーション用の背景画、その前段階のスケッチ、イメージボード(監督の要請をうけて描くアニメーションのための下絵)など約180点を一堂に紹介する展覧会です。初期から最新作まで、多数の初公開作品をご覧いただきます。日本のアニメーションを牽引してきた山本二三の全貌にふれる絶好の機会です。

★展覧会内容★

本展覧会の出品目録



「天空の城ラピュタ」（1986）《ラピュタのロボット》

©山本二三

ラピュタにいたロボット。天空から落ちてきて機能停止していたが、主人公シータが何気なく呟いた「守りの言葉」に反応して再起動し暴れる。飛行石を持つ者の命令には服従するロボットを描いています。



「もののけ姫」（1997）《獅子神の森》

©山本二三

獅子神の森に生息する大樹。山本二三は屋久島の縄文杉を取材し、その参考にしました。鬱蒼とした樹木の生命力さえ表現した芸術性の高い作品です。



「火垂るの墓」（1988）《裏通り》

©山本二三



「火垂るの墓」（1988）《火炎》

©山本二三

昭和20年6月5日、アメリカ軍による大空襲が神戸市東部地域を襲います。「火垂るの墓」は清太、節子がこの大空襲に襲われる場面から始まります。《裏通り》は穏やかな光と静かな空気が流れる町並みを描き、《火炎》ではそこが猛火に包まれています。戦争の恐怖と悲惨さを見る者に強く訴えています。山本二三は「火垂るの墓」に際して神戸・西宮地域を綿密に取材しています。



「時をかける少女」（2006）《踏切》

©山本二三

主人公の女子高生・紺野真琴が、時間を遡ってやり直せるタイムリープ（時間跳躍）の能力を獲得するきっかけとなった踏切を描いています。映画の広告ポスターのために作成された原画です。この前に主人公真琴がキャラクターとして配されました。青空に広がる輝く雲が印象的です。山本二三が描くボリューム感ある雲はユニークで、ファンの間では「二三雲」と呼ばれています。

主催：神戸市立博物館、神戸新聞社、毎日新聞社、サンテレビジョン、ラジオ関西、
神戸ビエンナーレ組織委員会

協賛：兵庫県民共済生活協同組合

協力：絵映舎

★入館料（同時開催の企画展・常設展も合わせてご覧いただけます。）

当日券

前売券

団体券(30名以上)

一 般	1000 円	850円	750 円
高校・大学生	700円	600円	550円
小・中学生	400円	300円	250円

※65歳以上で「神戸市すこやかカード（老人福祉手帳）」持参の方は当日一般料金が半額。

※障がいのある方は身体障がい者手帳・療育手帳などの提示で無料。

※神戸市および隣接6市1町、淡路3市、鳴門市、徳島市の小中学生は、「のびのびパスポート」の提示により無料。

★関連イベント★

◆記念講演会

①7月16日（土）

「師は自然 ～私が背景画を続けてこられた理由」

講師：山本二三（背景画家・美術監督） 聞き手：当館学芸員

②7月30日（土）

「アニメ、むかしといま」

講師：辻 真先（作家・脚本家）

聞き手：南かおり（ラジオ関西 ラジメニアパーソナリティー）

■開催時間：いずれも午後2時～午後3時30分

■会 場：神戸市立博物館地階講堂

■定 員：180人（当日午後1時より地階講堂前で整理券を配布します）

* 聴講無料、ただし「山本二三展」の入館券が必要です。

◆映画上映会（解説付）

■日 時：

8月13日（土） 「火垂るの墓」 ①午前10時30分～ ②午後1時30分～

8月27日（土） 「時をかける少女」 ①午前10時30分～ ②午後1時30分～

■会 場：神戸市立博物館地階講堂

■定 員：160人（当日受付、先着順）

■参加費：1回300円 * 「山本二三展」の入館券も必要です。

◆親子で「火垂るの墓」ゆかりの地を歩こう

■日 時：8月18日（木）午前10時～午後1時

* 阪神御影駅から「火垂るの墓」ゆかりの地を、説明を聴きながら巡ります。

■募集人数：30人（保護者を含む。事前申込み制、多数の場合抽選）

■対 象：小学4年～中学生とその保護者

■参加費：無料

■申込方法：往復ハガキに講座名、参加希望のこどもの名前・学校名・学年、保護者の名前・住所・電話番号、返信用の宛名を記入の上、博物館に送付ください。1枚のハガキでこども3人まで申込できます。その場合は、参加希望全員の名前・学校名・学年をお書きください。

・締 切：8月8日(月)必着

- ・ 申込先：〒650-0034 神戸市中央区京町24番地 神戸市立博物館
「こどものためのワークショップ」係

◆こどものためのワークショップ 「アニメ背景画に挑戦！」

■日 時：8月11日（木）午後2時～午後4時

* ペーパークラフトでアニメの背景画を立体的に表現します。

■募集人数：20人（事前申込制、多数の場合抽選）

■対 象：小学4年～中学生

■参加費：500円(ただし、保護者の方は「山本二三展」の入館料が必要です)

■申込方法：往復ハガキに講座名、参加希望のこどもの名前・学校名・学年、保護者の名前・住所・電話番号、返信用の宛名を記入の上、博物館に送付ください。1枚のハガキでこども3人まで申込できます。その場合は、参加希望全員の名前・学校名・学年をお書きください。

・ 締 切：7月29日(金)必着

- ・ 申込先：〒650-0034 神戸市中央区京町24番地 神戸市立博物館
「こどものためのワークショップ」係

★同 時 開 催★

- ▶ 南蛮美術企画展 若芝と鶴亭 —黄檗宗の画家たち— (7/16 - 9/4)
- ▶ ギャラリー 絵葉書に見る神戸 (7/16 - 9/4)
- ▶ ギャラリー 文化財課企画展「東遊園地と居留外国人」 (9/6 - 9/25)